

各位

会社名 東洋合成工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 有仁
(コード番号:4970 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 取締役 経営企画部長 渡瀬 夏生
電話番号 03-5822-6170

感光材開発分析棟竣工のお知らせ ～社員の創造性を引き出し、知の融合を目指す～

東洋合成工業株式会社(代表取締役社長:木村有仁)は、千葉工場(千葉県香取郡東庄町)において建設を進めておりました感光材開発分析棟が竣工しましたので、お知らせいたします。

記

1. 建設の目的

千葉工場では、主にディスプレイ、半導体の製造に使用する感光材を生産し、国内外のフォトリソメーカーへ供給しています。

新感光材開発分析棟では、急成長する半導体に必須の感光材開発の生産性向上と知の創出を目指してまいります。今回、3拠点に分散していた研究開発・プロセス開発・品質管理部門を新開発分析棟に集結し、開発から量産立ち上げの迅速化を図るとともに、最先端の1兆分の1の分析や品質管理技術、合成難易度を増す材料などの更なる開発に向け、開発能力を拡充します。また、働く社員の多様な視点の相互作用によって、技術者の能力を最大限に引き出す職場環境を実現してまいります。

感光材開発分析棟の活用により、未来を創造し、知の融合とよりよい品質を生み出し、更なる事業拡大に取り組みます。

2. 開発分析棟の概要

名称	感光材開発分析棟
所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号
敷地面積	916 m ²
延床面積	4,495 m ²
投資金額	約 30 億円

3. 5月15日に実施した竣工式の様子



4. 感光材開発分析棟のデザインコンセプト

デザインは、「Crystallize(クリスタライズ) 知の結晶・知の集合体」をコンセプトにしています。外装は、アースを象徴する石、自然の木目調、一部にきらりと光る素材を組み合わせ、当社の先端半導体を支えるマテリアルイノベーターとしての研究開発の先進性と地元東庄町の豊かな自然とを調和させるとともに、持続可能な社会を実現する姿を表現しました。

内装は、知の創出を狙い、先進的な分析機器、開発設備に加え、全フロアでアイデアを深められるオープンなコミュニケーションスペースを設けています。

<外装>



<内装>



3階オフィス。オープンなコミュニケーションスペースを多く設置し、研究に携わす人材の生産性向上とアイデア創出を促進。



1階エントランス



1階エントランスホール



2階ラボエリア



ラボエリアのオープンスペース

以上